

口頭発表 | 口頭発表：家政教育

2025年6月1日(日) 15:10 ~ 16:10 ⅢD会場（都市科学部講義棟107）

家政教育

座長：川嶋 比野（戸板女子短期大学）

15:25 ~ 15:40

[3D-07] 「責任ある行動」ができるエシカル・コンシューマーの育成 -高等学校家庭科におけるパフォーマンス課題を取り入れた実践とその効果-

*谷 昌之¹、大本 久美子² (1. 大阪府立天王寺高、2. 大阪教育大)

キーワード：家庭科、消費者市民教育、エシカル・コンシューマー、パフォーマンス課題

目的 家庭科における消費者教育は、消費者市民社会の主体となるエシカル・コンシューマー（倫理的消費者）の育成に大きく寄与している。知識習得だけでなく、責任ある行動を促すことをねらいとしたパフォーマンス課題を設定した実践を行い、効果を検証する。

方法 2025年1～2月に大阪府立A高校2年生9クラス（355名）を対象として家庭基礎（2単位2時間連続）において消費生活の授業を8時間実施した。内容は、1.ライフプランと家計管理、2.契約と消費者トラブル、3.課題の作成、4.課題の仕上げと発表、とした。単元を総括するパフォーマンス課題は「消費生活アドバイザーとして、中学生に『エシカル・コンシューマー』について5～10分のミニ講義を行う」とした。評価はルーブリックを用い、観点は、1.問題点や背景を盛り込めたか（問題意識）、2.課題解決のためのアクションを提案できたか（提案性）、3.内容や方法を工夫できたか（表現の工夫）、とし、各3段階の記述語を設定した。事前調査やパフォーマンス課題の生徒による相互評価、事後調査などを実施し、得られた成果物やデータを分析した。

結果 事前調査より、エシカル消費の取り組みについては知識、実践ともに低調であった。

「中学生に説明し、行動を促す」という課題を設定したことにより、エシカル・コンシューマーとしての知識習得とともに行動を具体的に想起できたことが、成果物や相互評価より確認することができた。